全学教養教育科目　2016年度前期　『大学でどう学ぶか』

●　開講時期　　Ⅰ期　火１限　　●対象学部　　文系学部、理系学部

●　担当教員名　　夏目達也（高等教育研究センター）

●　本授業の目的とねらい

　・大学での学びについて考え、主体的に学ぶ必要を理解できる。

　・名大の学生として何を知り、何ができることが必要かを考えることができる。

　・自分の専攻領域や将来の進路を考えることができる。

　・名大での４年間がどのような時期であり、その間に何をすべきかを考える。

●　授業内容

　・第１単元：大学と社会　第２単元：名大生論　第３単元：キャリア形成論

●　第１単元の目的

　・社会における大学の位置づけと役割を理解できる。

　・討論に参加し、所定の時間内に充実した討論を行うことができる。

　・司会と書記の役割を適切に果たせすことができる。

　・大学教育におけるレポートの役割を理解し、書き方のポイントを理解できる。

●　評価方法

・課題（３単元の各最終回に提出）　　　　　　　　　　　60％

・レポート：授業中に提示　 30％

・授業における貢献（グループ討議における発言、発表）　10％

●　授業を受けるに際しての注意

・教員→学生の一方通行ではなく、双方向型授業を目指します。学生も応分の負担を。

・授業開始8時45分。遅刻厳禁。遅刻は討論に参加できず、他学生に迷惑をかける。

・授業履修を取下げ希望者は、早期に届けを提出のこと。GPAで不利な扱い防止。

・授業モニターを募集。学生の立場から、授業の評価・改善提案を歓迎します。

●　第1単元のテキスト　　吉見俊哉、2011、『大学とは何か』、岩波新書

　　第２単元のテキスト　　金子元久、2007、『大学の教育力』、ちくま新書

●　授業の展開

第１単元：大学と社会（１）～（５）

　第１回（4月12日）　 オリエンテーション

　第２回（4月19日） 大学と社会（１）：　学生の発表と質疑応答

　第3回（4月26日） 大学と社会（２）：　吉見本の解説（序章　pp.1-12）

　第４回（5月10日） 大学と社会（３）：　吉見本の解説（第4章）機会不均等（歴史）

　第５回（5月17日） 大学と社会（４）：　高等教育機会の均等・不均等（現在）

第２単元：名大生論（１）～（４）

　第６回（5月24日） 名大生論（１）： アメリカの大学、諸外国の大学

　第７回（5月31日）　 名大生論（２）： 名大の知的資源を探索する・図書館

　第８回（6月07日）　 名大生論（３）： 国際教育交流センター

　第９回（6月14日）　 名大生論（４）： 教養教育の今日的意義

　第10回（6月21日） 名大生論（５）： レポートの書き方・第２単元の課題

第３単元：キャリア形成論（１）～（４）

　第11回（6月28日） キャリア形成論（１）：

　第12回（7月05日） キャリア形成論（２）：

　第13回（7月12日） キャリア形成論（３）：

　第14回（7月19日） キャリア形成論（４）：

　第15回（7月26日） キャリア形成論（５）： まとめ・課題